

21春 第28回誠之フォトクラブ写真展資料(撮影条件etc.)

作者	題名	撮影月	Data			撮影意図
有田 俊介	波しぶき	9月	Leica SL	f18	1/25	台風之余波の高波のしぶきの先端をカメラの振り流しで追った
	連なる傘	10月	Leica SL	f6.3	1/800	雨降りの中、歩調を合わせ登る神官の傘が一行に並び浮き立っている
	艶めかしいぶるー	6月	Leica SL	f6.3	1/320	紫陽花のブルーと下りてくる女性の腰にまつわりつくドレスのブルーが艶めか
	あじさい通り	6月	Canon EOS5DSR	f8	1/100	
井上 菫虫	額縁(ガラス)	11月	Olympus M1-II	25mm	f8 1/60	一枚ガラスに豪華な楓が贅沢
	額縁(大広間)	11月	Olympus M1-II	14mm	f9 1/60	コンクリート造りなので柱スパンが長く横長の切り取りが出来た
	額縁(帽子)	11月	Olympus M1-II	14mm	f7.1 1/60	和服に帽子が似合う青年
	寺のご利益は健脚	12月	Olympus M1-II	15mm	f8 1/60	延々と続く階段、年寄りも諦めない
貝塚 昌彦	コロナ禍休眠中	11月	Canon 5D II	105mm	f4 1/50	
	春まじか	2月	Canon 5D II	24mm	f8 1/500	
	坂道の変な店	2月	Canon 5D II	95mm	f4.5 1/200	
片桐 鏡三	前のめりになって	2月	Leica Xヴァリオ7	30mm	f6.3 1/1600	
	茅ヶ崎海岸の日没	11月	COOLPIX B700	59mm	f5 1/1600	
	桂坂を下る	11月	Sony α 7	20mm	f4 1/60	
高木 建二	瓦礫の上の昼食	10月	FUJIFILM X30	Auto		古代ローマの遺跡かと思つたら、ユーゴ紛争(1991)によるものだそうです
	一瞬の静寂	6月	Olympus E-1	Auto		喧騒の観光都市も、ふとした瞬間に静謐な表情を見せることが有る
	神楽坂2020	12月	FUJIFILM X30	Auto		コロナ元年12月30日。行き交う人は少なく、しかも皆、マスク姿。
楡 郁太郎	石垣 I 鶴岡城址	11月	Canon FV100	f2.2	1/120	天守閣が無くとも城跡は歴史を語る。鶴岡城の桜はあきの趣もまた捨てがた
	石垣 II 今帰仁城の桜	3月	FUJI X-S1	f2.8	1/320	首里城と並ぶ、世界遺産に登録された沖縄の名城、城壁のディテールが美し
	石垣 III 江戸城外堀	1月	Sony DSC-RXM7	f5.6	1/400	枯れた蓮、満開の桜、蒼める柳、我関せずの都鳥
	下校時	12月	Sony Cybershot	f3.5	1/1000	初冬の朝、Tシャツ1枚で元気よく登校する少年
平松 聡子	ここはどこ細道じゃ	6月	PanasonicDMCTX1	35mm	f2.9 1/100	増上寺のひと隅に3・4段上がって細道が続いていた。この先に何かあるのか「通じやんせ」の歌を思い出した
	静寂	1月	PanasonicDMCTX1	35mm	f5 1/80	閑散とした美術館の庭に散在する石仏。正月過ぎの静かさを感じた。

	コロナ禍の坂道	1月	PanasonicDMCTX1	35mm f4	1/800	「緊急事態宣言」が出された1月、ウーバーイーツの自転車が下る先に坂が
廣川 順子	おべんとつけてどこいくの	8月	Canon 5DIV	100mm f5.6	1/800	渋い面構えですが顔にご飯粒が付いていると笑いを誘ってくれます。ご飯粒は私のお弁当のおすそ分け。
	森の影絵アート劇場	11月	Canon 5DIV	92mm f8	1/125	蝶の幼虫達が木の葉をモリモリ食べてこのアート作品を創りました。
	春の笑顔	11月	Canon 5DIV	105mm f5.6	1/125	南半球の桜とも言われるジャカランダ水紋となり池を春色に染めます。ウッドダックも心弾んで笑っているよう。
	僕の空へと向かう坂道	11月	Canon 5DIV	105mm f5.6	1/125	春の空気の中をウイリーする少年の自転車空に向かう透明な坂道を登り始める一瞬に見えた
前田 陽	雨中残照	2月	Canon 6D	24mm f8	1/125	雨中の西日が当たりメタセコイヤの枯葉が赤く染まっているのが気にいった。
	夜が明けた	12月	Canon R	23mm f9	1/400	冬寒の夜明けの公園では朝焼けの空を背に水鳥も活動を始めていた
	夜明けの花園	10月	Canon R	16mm f5	1/200	雨上がりの日の出の気配が作りだす雰囲気をつ捉えたかった。
	里へ下る道	5月	Canon 6D	24mm f8	1/80	青鬼部落から眺める早春の白馬村遠景に惹かれて
三浦 吉成	初雪のデート	2月	SONY NEX7	81mm f7.1	1/640	東京では珍しい大雪(初雪)に出かけた新宿御苑で見たデート中の女性のピンクの傘が印象的だった
	部屋の月	7月	Fuji HS50EXR	7.5mm f3.6	1/200	旧家の部屋の中にひっそりと灯りがとまり、満月のようで外の垣根の緑とマッチしていた
	カールの夏	7月	SONY α 100	45mm f16	1/60	木曾駒ヶ岳を目指して千畳敷カールを登るハイカーが夏の象徴的光景
	百日紅の咲く坂	8月	SONY DSCW170	f4.5	1/80	小降りの中馬籠宿の或る坂で傘を差す納付姿とその後ろの百日紅が印象的
三井 保彦	霧に浮ぶ	11月	SONY α 6000	47mm f6.3	1/1000	霧が薄くなった一瞬見えた観音像を捉えた
	ネツ！取替えて	3月	SONY α 6000	55mm f5.6	1/3200	目は口ほどに物を言い
	気を付けてGo！	11月	SONY α 6000	24mm f9	1/640	? 文字で坂道を敢えて強調した
若山 富士子	赤松と回教寺院	2月	Lumix DMC-TZ70	9mm f4.1	1/1000	大山町は昔から屋敷町、その中に立つモスクは日本家屋とも調和がとれている日本風景に溶け込んでいる。
	昼下りの山門	11月	Lumix DMC-TZ70	4.3mm f3.3	1/640	コロナ禍の中でも山門の下では若者が3人。円座で昼ご飯を食べていた
	影を漕ぐ	10月	Lumix DMC-TZ70	4.3mm f5.4	1/400	坂道を漕ぐのは辛いけど子供の笑顔が待っている。
渡辺 綱治	オリンピックをめざして	5月	Olympus OMD			オリンピック選手が何人できるかな？
	雲海に乗って	5月	Olympus OMD			羽田に向かう航空機から見た雲海と夕陽がとてもきれいだった

自由作品 | 課題作品

期間 '21. 4. 6~4. 11

た
ハしい

い
い

続く

、
こ。